

笹目1丁目町会

峯岸 昭幸さん（文化広報部部長）



[Profile]

生まれも育ちも笹目1丁目。
長年笹目地区で地域活動を行
っており、現在は本格的に町
会役員として活動に取り組ん
でいる。厚生部副部長を2
年、文化広報部部長を4年担
当する。

「人と新しいつながりができること、助け合える

仲間ができることが、町会の魅力です！」

[Interview]



Q. 文化広報部の部長をご担当されているとお伺いしました。

具体的にどのような活動をされていますか？

A. 今は文化広報部の部長として、回覧物等の分配、町会運動会と市民体育祭の運営の担当をしています。

今年度の運動会は、コロナ禍中ということもあり、開催決定したのが本番の20日前でした。複雑な段取りがあり、本来なら、20日間ではとても準備できません。しかしながら、この運動会は先輩方が築いてきたノウハウや実績があったため、無理をすることもなく、無事に開催することができました。

Q. 伝統が今でも続いているのは本当にすごいですね。

A. 運動会に限らず、笹目1丁目町会では納涼盆踊りや敬老の日に行う福祉の一日など、長く受け継がれてきているものがたくさんあります。そこではたくさんの方に参加いただいております。運営面では役割がきちんと決まっているので、誰でも無理なく参加ができます。だから、普段はなかなか関わらないような若い方にもたくさん参加してくれるので、お互い親しくなります。お互いに親しくなることで、若い方も町会活動により参加しやすくなります。こうしてどんどん町会のつながりが増えていきます。

Q. 町会に入っていて、よかったことや、やりがいを感じる時はどんな時ですか？

- A. 今回の運動会のように、多くの人に参加していただいて、楽しかった
とっていただけたときはとても嬉しいですね。
イベントをやるまではとても大変なのですが、やったら多くの人
たちが楽しんでくれるので、こういうイベントって必要だなと思いま
すし、これからも続けたいと思います。



あと、やりがいとしていえるのが、新しい出会いがあったとき。
新しい仲間に出会えるのは楽しいし、うれしいですね。

今回の運動会のようにイベントを開催するときは、たくさんの方にご協力をお願いをしていま
す。けど、どうしてもみなさん都合がありますから、ほとんどの方からお返事をいただくこと
ができません。それでも、あきらめずに協力を求めて発信をしていくことが大切なんだと思いま
す。同じ志を持っている人は必ずいます。発信を続けていけば、応じてくれる人が必ずいます。

- Q. 笹目1丁目町会の良いところはどんなところでしょうか？

- A. 挨拶がしやすい雰囲気、子どもを見守る雰囲気、こういった暮らしやすいまちをみんなでつくろ
うという雰囲気が醸成されている、こうしたところが町会のよいところだと思います。

- Q. 一人一人がまちづくりの一員であるという意識を持つということはとても大切ですね。

- A. こういう気持ちを一人一人が持つことで、ゴミ集積所をきれいに使ってもらえるようになり、
公園の遊具も大切にもらえるようになってくるのだと思います。

- Q. みんな一丸となって、いろいろなイベントに携わるから、こうした意識が生まれるんですね。

- A. 運動会やお祭りといった年次のイベントもありますが、公園清掃、530 運動といった通年の
イベントにいろいろな世代の方が参加することで、地域の顔見知りにもなれると思います。

- Q. 新規の参加を促すために、心がけていることはありますか？

- A. 実際に若い方や新しい方が参加された場合、まずは感謝の気持ちをきちんと表明するようにして
います。あとは、溶け込みやすいように、御名前を聞いて、最後に「○○さんが参加してくれま

した」と紹介しています。参加してみたのはいいけど、誰とも話す機会がなく、「来てよかったのかな?」、「次は(参加しなくて)いいや」となってしまうと、せっかく来てくれたのに、もったいないですね。

Q. 今後町会でやってみたいことはありますか？

A. 地域の方が交流するきっかけとなるような場をたくさん作っていきたいと思っています。公園掃除など、そういう小さなことでいいんじゃないかなと思いますね。一緒に○○しませんか?という風に、気軽に、緩やかな感じで、家族で参加できるような活動を増やし、地域で挨拶できるような関係を築いていく。地域の清掃とかが一番いいかもしれないですね。参加するきっかけをたくさん作ることで、多くの方が協力してくれるようになればいいと思います。

Q. 若い人、特に大学生、20代の方がたくさん参加してくれる工夫は何かありますか？

A. やっぱりイベントってすごく大事だと思います。イベントがあったら、声かけできるじゃないですか。運動系のイベントは特に若い人の力が必要なので、声をかけるようになりますよね。集めるのが大変というデメリットもあるけど、メリットもあると思います。イベントの開催が決まれば、あとは協力者をあきらめずに募っていく。新しい出会いがあれば、とにかく感謝の気持ちを伝えていく。こうした心掛けがとても大切です。

Q. 最後に、未加入者の方へ一言お願いします。

A. 住みよく楽しいまちを、作っていきましょう！
無理なく、楽しく、緩やかにご協力ください！

